

24時間365日
迅速に救急を受け入れる

脳卒中は、治療に充実した設備や高い技術が求められる上、迅速な対応と手厚いケアが重要となる疾患だ。大西英之院長は地域の脳神経外科を担う病院として大西脳神経外科病院を開院。科学的根拠のある治療を行う「サイエンス」、芸術的ともいえる程高い技術を追求する「アート」、病気ではなく患者を診る「ヒューマニティ」の理念を掲げ、高度な治療を実践し続けてきた。大西院長はこう強調する。「脳卒中はとにかく時間との勝負です。3時間以内に開始できれば注射で血栓を溶かすtPAも可能ですが、それには24時間365日の対応が求められます」。そこ



院長 大西 英之

おおにし・ひでゆき●医学博士。奈良県立医科大学卒業。2000年12月に大西脳神経外科病院を開院。奈良県立医科大学臨床教授、日本脳神経外科学会認定脳神経外科専門医・評議員、日本脳卒中学会評議員、日本脳腫瘍の外科学会評議員、日本頭蓋底外科学会理事、The 7th Pan-Pacific Neurosurgery Congress・President など

で作り上げたのが常勤医10名と看護師や放射線技師などによる総合チームだ。結果、救急搬送からすぐにMRI検査、治療に移れるだけでなく、tPAが困難であっても、迅速な血管内治療や開頭手術で対応が可能だ。脳卒中以外でも、腫瘍を発光させて正常部位と区別する蛍光診断や、麻酔の調節で術中に意識を戻して言語機能を確認する覚醒下手術のような高度な手技を使いこなす。術後のケアでも、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士を含めたスタッフや、急性期からリハビリを開始する。「患者さんは大病を経たことで

充実した脳卒中の総合チームを構築し 高度な治療を24時間365日実践する

Top どこまでも「患者思考」
日本の名医
Interview

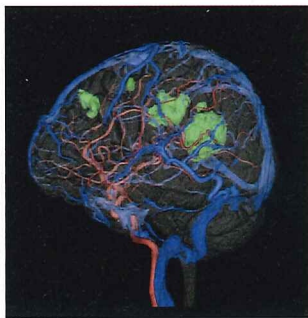
医療法人社団 英明会 大西脳神経外科病院

診療科目:脳神経外科、神経内科、放射線科、麻酔科(鈴木夕希子)、リハビリテーション科
受付時間:9:00~12:00/14:00~17:00 休診日:土・日・祝 病床数:82床
〒674-0064 兵庫県明石市大久保町江井島1661-1
TEL.078-938-1238 FAX.078-938-1236 <http://www.onc.akashi.hyogo.jp/>

うつ状態に陥ることもあります。多くのスタッフが早くから親身にケアをすることで、それも防げるのです」と大西院長。術後の患者は嚥下機能が低下していることも多く、誤嚥性肺炎を引き起こしかねない。それを防ぐためにも、嚥下チェックや、呼吸アシストなどが重要だという。

新病棟を開設し 最先端の脳疾患医療を

MRIによる立体画像の活用も正確な手術につながる。



脳卒中は病院までの搬送の迅速さも重要であり、それ故に地域で取り組む疾患でもある。同院では、脳卒中の兆候をまとめたプレホスピタルレコードで、早くから救急隊と積極的に連携してきた。患者や家族がすぐに脳卒中の可能性を判断できるよう、市民講座やオーブンホスピタルなどを通じた啓発活動にも積極的だ。そして、より多くの患者を受け入れられるよう、2013年春にはハイブリッド手術室や術中MRIのような最先端の設備も導入された新病棟を開設する。「より手厚い治療が提供できるよう、脳卒中や脳腫瘍など、疾患



新病棟では手術中に血管造影検査やMRI検査が可能なハイブリッド手術室を設置

ごとのセンター化を進めていきたいですね」。そう見通しを語る大西院長は、1人でも多くの地域住民を脳卒中から守るため全力を尽くしている。取材/鈴木健太

開頭手術に加え、脳血管内治療や脊髄治療も実施

